

佐渡誌

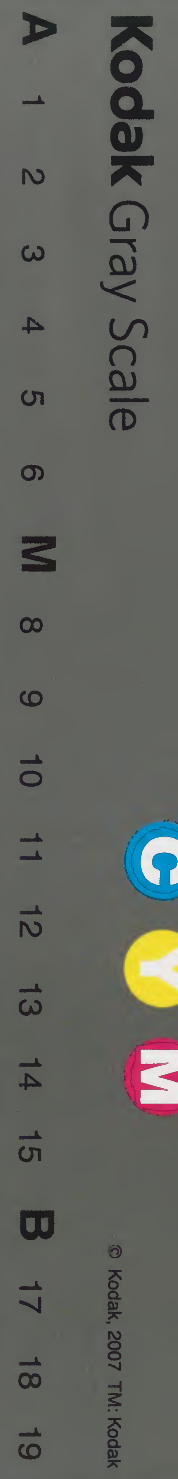
内務省圖書
 第一九八七號
 加書部地理類
 函冊

和書門
 二九二七九
 六架函號類

内閣文庫
 和書
 二九二七九
 三架冊號類

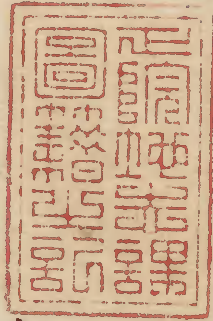
内閣文庫
 番號和 29279
 冊數 6 (1)
 函號 175 102

共六



佐渡田中義暢^清撰文化中奉奉行命世之

明治七年一月孫義暢^成



凡例

一古へ國々ヨリ地圖ヲタテマツラシメ又風土

記ヲ撰進セシメラシコト史冊ニ見エタリ

トモ全ク世ニ傳ハラス今此國ノ古キ事トモ

國史ヨリ下ツカタ諸書ニ出シ処ト土人ノ

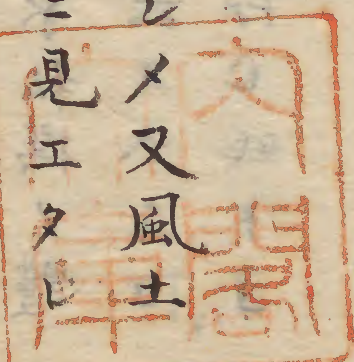
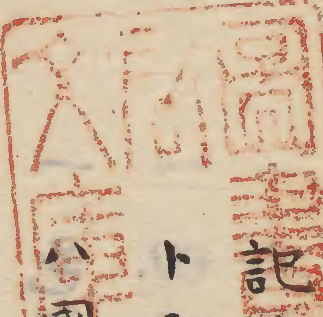
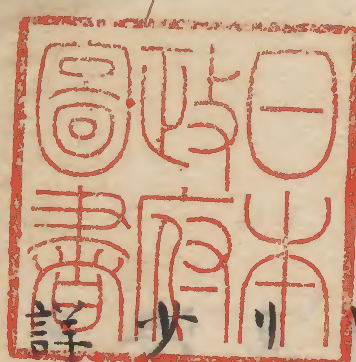
口ツカラ傳ヘシ所トナ併セ考ヘテ撰ヘルナ

リ三郡ノ地廣カラストイヘトモ記スヘキ事

少カラス況ヤ上下千百年ニワタリテ最是ナ

詳ニシカタシ耳目ノ未タ及ハサル所ハ後人

ノ考索ヲ待ノミ



一 總テ地理ノタクヒ辞ノ盡シ難キ事アルヲハ
コ、カシコ因ヲ加ヘテコレヲ明カニセリ獨
海岸ノ險易ニ至ツテハ其形勢ヲ失ハシコト
ヲ恐レテ悉ツラ子画キツ是海國ノ要トスル
所ナレハナリ

一 邑里ヨリシテ官林官橋ノタクヒニ至マテ必
ツソノ廣狹長短ヲノスルハ地志ヲ撰フモノ
ノ毎ナレトモ此書ハモトヨリ一家私撰ノ體
ニヨリテシルセルトコロナレハ記スヘキコ
トナキ山川ノタクヒソノ名ノ定マレルトコ

口モ省キテノセス况ヤ山ノ低ク川ノ細キ昔
ヨリ名モ定マラサル所ハ委レテ記ストモ何
ノ益カアラム

一 田土戸口ノタクヒハ人ノシル処ナレトモ今
ニ存シテ後ニ傳ヘサラムモ計ルヘカラス故
ニ委シク是ヲ記セリタ、コノ外食貨ノ沿革
武技ノ精粗ノ如キハ國跡ノカ、ルトコロ尤
重シ今殊ニ是ヲ詳ニセンニハ憚リナキニア
ラス故ニ文化十三年ニ筆ヲタテテ其後ノ事
ヲハ委記スニ及ハス

一物産ノ中此國ニノミアルカ又ハ他ノ國ニモ
アレト稀ニシテ世ノ人多ク見サルタクヒハ
図ヲ出セリ此國ノ産他ノ國ノ産ト形ナリ異
ニセルモ又図ヲ以テ詳ニス廣ク國々ニアル
物ハ其名ト出ル所トヲ記シタルノミニテ形
状ヲ省キ又都テ藥物ノ主治ハ本草ノ諸書ニ
備レルヲ以テ今サテ記スニ及ハス
一神祠佛寺ノタクヒ其久ク傳レル処ハコトニ
出ス又今ニ盛ナルモ古ヲ徵スヘキコトナキ
ヲハ其一宗ヲ省キコノ書ニ載セズ殊ニ叢祠

堂宇ノタクヒハ最繁ク煩シケレハ悉是ヲ省
ケリカツ佛像經卷ヨリ始テ古キ世ノ物或ハ
世ニマレナリト見ユル類ヒハ是ヲ出セリ
一此書ニ記ス所古ヲロソカニシテ今ニ精シキ
アリ戸口ノタクヒ是ナリ古ニ精シクシテ中
頃ヨリオロシカナルマリ祥異ノタクヒ是ナ
リ皆傳フル所ノ備ラサルヲ以テ例ヲ一ニシ
カタシ
一歴史三代格式等ノ文ヲ引タル所國字ヲ交テ
和ラケタルモアレト此國ノ照監トモナルハ

キコトハ全文ヲ其マニ載タルナリ又國ノ
 内ニ傳ヘタル古文書ノタクヒモ古ヲ觀ツヘ
 キモノヲハ全ク是ヲ寫シ其餘ハ書中ニ引タ
 ルノミニテ例ヲ一ツニセス
 一此國ノ略記相川志十トイフ物十餘部アリ其
 記セル所ヲ見ルニ疑ハレキコトモ寡カラ子
 一十聊モ取ヘキコトアレハ捨スシテ引用ヒタ
 リ

一此國ノ略記相川志十トイフ物十餘部アリ其
 記セル所ヲ見ルニ疑ハレキコトモ寡カラ子
 一十聊モ取ヘキコトアレハ捨スシテ引用ヒタ
 リ

佐渡志目錄

- 建置
- 形勝
- 田土
- 食貨
- 風俗
- 官負
- 武備
- 戸口
- 祥異
- 神祠
- 佛寺
- 古蹟
- 遷流
- 遺事
- 産物

三河系
 越前系
 能登系
 佐渡系
 陸奥系
 出羽系
 越前系
 能登系
 佐渡系
 陸奥系
 出羽系

引用書目

舊事紀

古事記

日本紀

續日本紀

日本後記

續日本後紀

三代實錄

文德實錄

類聚國史

皇帝紀抄

本朝世記

日本史

增鏡

保元物語

平治物語

平家物語

東鑑

太平記

梅松論

園太曆

類聚三代格

延喜式

今義解

和名類聚抄

本朝文粹

拾苾抄

八雲却抄

為兼卿家集

玉葉集

壬二集

宇治拾遺物語

江談抄

今昔物語

職原抄大全

武家系圖

一宮記

禰宜轉補

日蓮注画讚

同化道記

佛祖統記

遊行渡海記

武德編年集成

羅山先生文集

鷲峰先生文集

本草綱目

同啓蒙

名所方角

大原問答

鐘銘集

本間家古文書

佐渡諸寺古文書

夏日記

寶貨事略

藩翰譜

救荒本草

廣輿記

和漢三才圖會

越後名寄

大和本草

朝野群載

承久記

真野皇陵記

佐渡事略

佐渡名勝志

佐渡年代略記

相川志

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

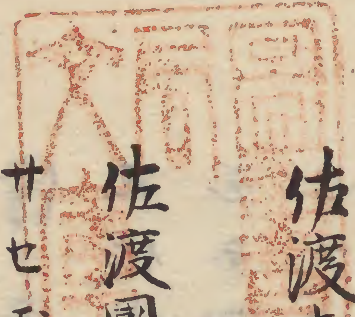
同

同

同

同

同



佐渡志卷之一

建置

佐渡國ハ伊弉諾伊弉冊ノ二神葦原ノ中ニ基セ
 廿セ王ヒシ大八洲ノ一ツニシテ上古ヨリソ開
 ケ始リケル古日本紀其名ノ由テ起レル処説々多
 シトイヘトモ迫門ノ轉語ナリト云説ヤ近カラ
 ムサレハ天地靈秀ノ氣ノアツマレルニヤ其境
 域長キヲ断短キヲ補ヒ僅ニ方十餘里ニ過スト
 イヘトモ嘉穀ノ稠キ良材ノ衆キ魚塩ノ利桑麻
 ノ産ニ至ルマテ取テ足ストイフコトナシシカ

ノミナラス山ニ金銀ヲ出スヲ以テ廣ク天下ヲ
利スルコトモ亦少カラサリテリ古へ此國ヲ建
日別トイヒ又熊襲ト云シコト古キ書ニ出タレ
ト皆廿夕カナラヌコトニテ熊襲ハモトヨリ
筑紫ヲモ日向ヲモイヒ紀日本廣ク邊陲ノ地ヲサ
シタル辞ナルヘシ爰ニ其建置沿革ヲシルシテ
傍ラ事實ノ遺シルヲ擧テ参考ニ備ヘツ人皇十
三代成務天皇江及志賀ノ高穴穗ノ宮ニマシマ
シテ御世シロシメシタル五年ノ九月諸國ニ詔
シテ始テ國郡ニ造長ヲ置縣邑ニ稻置ヲ定メラ

レシトキ紀日本久志伊麻命曲世ノ孫大荒木直
トイフ人シテコノ國ノ國造トナサシキ國造是
ヨリ漸々土地モ闢ケ民ヲ聚リタルヘケレト史
籍ニ載サル所信ヲ考ルニ由ナシ後曲百餘年ヲ
經テ三十代欽明天皇ノ五年十二月肅慎ノ夷コ
コニ來テ侵掠ルコトノアリシヲ越國ヨリ朝ニ
申セシトキ史ノ辞ニ佐渡嶋ト称シタルハ紀日本
其コロ越ノ國司コ、ヲ管セシニヤ又隣國ノ故
ヲ以テカシコヨリ聞ヘ上タリシヲ其辞ノマ、
ニ記サレタルニヤ如何トモ知ヘカラヌ曲十曲

代元正天皇養老五年八月越前ニ按察使ヲ置レ
テコ、ヲモ管セシメラレシカト彼國ニ併セラ
レタルニハ非ス四十五代聖武天皇天平十五年
ノ二月十一日ニソ始テ此國ヲ以テ越後ニ併セ
ラレケル幾程ナク曲十六代孝謙天皇天平勝寶
四年十一月三日舊キニ復サレテ一國トナシ官
貢ヲ置ルコレハ此年九月渤海來聘テ使輔國大
將軍慕施蒙等カ船コ、ニ着シカ故ナルヘシ其
後世々國司シテ治メラレシト見エタリ本紀
出ス條ニ時移リテ八十二代後鳥羽天皇ノ文治元

年ニ鎌倉ノ右大將家天下ノ事ヲ掌リ國々ニ守
護ヲ置莊園ニ地頭ヲ定ラレシニ及テ本間右馬
允能忠トイフモノ播磨ノ國ヨリ移リテコ、ニ
土着シ又淡谷土屋名古屋トイフ人々所領ノ
地賜リテ移リ住シ常ニ鎌倉ノ番衛ヲトム本
勘家時始テ此國トテ寫傳ヘシモノニハ後來直帝ノ
及此國ノ旧記ヲ保セ考ルニ彼系國ノイフトコ
口謬リタルナリ其説長ケレハコ、ニ畜キヲコ
カクテ鎌倉亡ヒ室町ノ中コロマテハ軍役ノ催
促ニモ從ヒケルカ以下本問ウチツ、キタル世
ノミタシニ乘シテ遂ニ彼子孫ホシヒマ、ニ一

國ヲ分テ領シ永祿天正ノ頃マテ傳ヘ来リ又廿
シト其一族ヲ各所領ノ地ニ據リ辛七戰テ民ヲ
苦シムルコト絶ス護國寺大般若經書永正七年庚午夏
越後ノ上牧六郎爲景未テ兵ヲ羽茂ノ本間氏ニ
借ル是ハ去年爲景上牧頭定カタメニ越後ヲ追
シシニヨレリ此年六月爲景羽茂ノカヲ借リテ
再ヒ上牧憲總ト同國椎谷ニ戰ヒテ是ニ勝ツ是
ヨリ永ノ隣好ヲ結ヘリ天正五年丁巳七月上牧
輝虎入道謙信麾下ノ將黒川備前柴田因幡ヲヲ
シテ此國ノ叛クモノヲ討シム其後屢殺キレカ

ト遂ニ輝虎ノ勢ヒニ畏レテ降ヲコヒイソト十
ク麾下ノコトクソナリケル輝虎死シテ後景勝
景虎國ヲ争ヒケル時柴田因幡景虎ニ與レテ河
原田ノ地頭本間佐渡守カ許ヘカヲ合センコト
ヲ請ヒケルニ佐渡守ヤカテ其請ニ從ヒテ北佐
渡ノ一族新保斤山五十里澤根吉丹ヲ柴田ニ與
ス羽茂ノ本間參河守ハ南佐渡ノ地頭淡手吉岡
澤田大野羽黒大田ヲトモニ景勝ニヨロキ
寄セ遂ニ申旨アリテ天正十二年甲申六月廿三
日景勝ノ家臣藤田能登守信吉其勢三千八百ヲ

率七兵船ヲ返ヘテ此國小木湊ニ善キ本間參河
守ヲ嚮道トシテ七月七日本間佐渡守カ河原田
ノ城ヲ攻ム其後ハハハ戰ヒテ九月ニ至リ故
アリテ越後ニカヘル同シキ十六年戊子羽茂ノ
本間參河守會津ノ葦名盛高ニ與シテ越後ニ殺
ク河原田ノ本間佐渡守ヲヤカテ景勝ニクタリ
渡海アリテ一國ヲ伐從ヘンコトヲ請フ此年ノ
五月景勝ノ家臣藤田能登守安田上慈及須田左
衛門尉ヲカ兵船澤根ニ善ク六月ニ至リ景勝自
ラ渡海シテ南佐渡ノ兵ト処々ニ戰フ南佐渡ノ

地頭ヲ或ハ討レアルヒハ落失テ參河守兄弟ハ
越後國新瀉マテ落延シテ其所ニテ生捕ラレ此
國ニ渡シテ國府川ノ川端ニ斬ラル河原田ヲ始
メ北佐渡ノ地頭ヲハ景勝ニ從ヒテ越後ニ才モ
ムキ一國悉ク上叔氏ノ所領トナリ又以上夏目
上叔氏ト合戦ノコト佐渡軍記ナト云モノ旧ク
傳ヘタルト其説謬多クシテ信スルニ足ラズ爰
正記ノ見聞スルハ上叔氏ノ家臣夏目舍人助定吉ク
サレシ其大概ヲ奉テ委シキ事ハ別ニ然ルニ豊
臣家佐渡ニ金銀ノ出ルコトヲ知ラレテ慶長三
年正月景勝ノ封ヲ奥羽ニ移サレ此國ヲ押取ラ

レシヨシ或書ニハ見エシ宝貨サレト土人ノ傳
フル所ハ此後モ猶上牧家領セシトイフナリ徳
編年集成ニ記ス所同五年關ヶ原ノ事終リテ明
ル六年此國ヲ關東ニ召收メラレシヨリ今ニ至
ルマテ二百二十餘年田野開ケサル所ナク人民
年々ニ多キヲ加ヘテ其業ヲ樂ムコト竟ニ易ラ
ス

此國ノ郡ヲ令タレシコト人皇由十由代元正天
皇ノ養老五年由月雜太郎ヲ令テ始テ賀茂羽
茂二郡ヲ置レ續日總テ三郡トハナリ又是ヨリ

廿キハ一國一郡ニテアリケルニヤアテシマタ
ソノ時ノ鄉里ノ名今ニ傳ヘシモノナシ後ニ源
順朝臣撰ハレシ和名類聚抄ニ載ラルトコロ
ハ越太大目於保駄太管生頼加八乘也久松前萬
佐星越保之高家加水淺也奈ノ九卿以テ羽
茂郡トシ岡石田與知高殿八多小野雜田佐
六卿ヲ以テ雜太ノ郡トシ升粟賀茂動知大野佐
爲ノ五卿ヲ以テ賀茂郡トスト見エタリ斯ハ記
サレタレトモ郷里ノ名ノミニシテ郡境ノコト
ニ至テ徵トスヘキモノナシ古キ家ノ書ニ羽茂

郡ハ東ハ赤泊西ハ真野川マテヲ以テ雑太郡ト
ノ境トシ雑太郡ハ東ハ太田甲ノ瀬中ハ加茂宮
西ハ北山堂マテヲ以テ加茂郡トノ境トスト記
シタレトモ夕シカニ證スヘキモノナケレハ信
スルニ足ラス年經テ明曆元年ニ至リ國司伊丹
藏人勝政郡境ノ混乱キイタリ始テ三郡ノ境ヲ
改メ定ム羽茂郡ハ淡手村ノ上小川内川ノ川上
ソウトリ白木ケ尾一盃清水逆甘マ柳前ノ濱ハ
松ケ寄ト岩首トノ間外倉ノ橋マテヲ以テ雑太郡
トノ境トシ雑太郡ハ後尾影ノ神ヨリ北山人堂

成変ノ柱一本カケテ里ハ栗野江村金立ノ明神ノ
祠成変ノ柱前濱ハコレモ外倉ノ橋マテヲ以テ
加茂郡ノ境ト定ラレ同キ二年ニ至リテ其初
全ク後州化カハ里程ヲ定メテ一里塚ヲ築クトイ
ヘリ雑田郡ハ上古一國一郡ニテ其地ノ上ニ
モイヘルカ如シ和名類聚杖ニ郷連ノ名記セシレ
ヨリサキニ始テ國府ヲ置シレハ雑田郡雜田郷
ニソアリケル世易リ時移リテ郷里ノ數モ多ク
ナリ又其所ヲ改メ名ツケタルモアル入ケレト古キ
名ノ合テニナク殘レル所モアルナリ其中雜田郷ハ

加茂郡
地

イツノ頂ヨリリ竹田ニ併セタリキナレト民間ノ
言ナラハレニハ古府トモ雜田トモイヒテ通スルナリ
今此郡ノ地勢ヲ觀ルニ一國ノ中ニモ最古ク開
ケタルコト疑ヘクモアラヌ今ノ府治ハ慶長
コノカタノコトニテ其頂マテハ加茂郡ノウチナリ
明曆二年郡境ヲ改メ置レヨリ是モ雜田郡ト
ナレリ此郡ヲ雜田ト名ケテハ古語ニ多キコ
ノ名トマタル語ナリト云ハキ又ハ佐
加茂郡ヲ置レシコト奉レタリ前ニ見エタリ今テ
雜田郡相川ノ府治ノ南鹿伏村ノアタリヨリ北ノ

ノ方戸地村マテチ古ハ善知鳥七浦ト言ヒナリ
元應二年八月廿六日境畷ノ定メ文今ニ戸地村
ニ傳ハレリ裕府治ノ南鹿伏村ニ善知鳥明神ノ
陸奥ノ率土ケ濱ト神ノ祠ルコト六十餘州ノ内ニ
ヘリナキコトナリト吉田家ノ説ナリト開キ始ルハ陸
奥ノ人ニキリ今ハコノアタリ雜太郎ノウチ
ナレトモ古ハ加茂郡ニ屬セシナラム元和三
年ノ檢地帳ニ戸地村ト五十里本郷トハ加茂郡
トアリ又寛永十一年五月ニ簿シ相川本典寺ノ
鐘銘ニモ賀茂郡ト記セリ雜太郎トナリシハ明

曆二年郡境サタメラレシトキノコトナルヘシ
羽茂郡古ハハウモト讀シテハモキト讀カヘタ
ルハ何ト云故ナシラス日本書紀欽明紀ニ越ノ
國ヨリ朝ニマウス佐渡嶋ノ北御名部ノ崎岸ニ
肅慎人アリ一船舶ニ乘来リテ淹留シ春夏魚ヲ
捕テ食ニアツ彼嶋ノ人鬼魅ナリトシテ敢テ近
ツカスコレヨリ先嶋ノ東禹武邑ノ人推子ヲ炮
テ怪異ニアフアル人占テイヘラクコノ邑ノ人
必鬼魅ニ迷ハサレムト久シカラスシテ其言ノ如
ク彼カタメニ侵シカスメラレ又彼肅慎人ノ瀨

川浦ニ移ルニ彼浦ノ神嚴ニ其人ヲ忌タリシカハ
敢テ近ツカス渴シテ其水ヲ飲ミ死スルモノ半
ニ及ヒ又骨巖岬ニ積メレハ俗呼テ肅慎ノ隈ト
イヒケルトソ御名部崎瀨川浦禹武邑ナトノ地
名今サタカサラス御名部ハ今ノ南行部村瀨川
浦ハ今ノ鹿ノ浦行部禹武ハ羽茂ニ轉シテ今ハ
又ハモキト讀カヘタルナリトアル人イヒケリ
接スルニ今モコノ人ナリニ蝦夷塚トイフモノ
アリテ近世マテ巨人ノ體骨ヲ掘出セシコトア
コトイヘリイワユル肅慎ノ隈ニヤアラシク又
水ヲ飲ム毒カシキ童謡ニモ行部鹿ノ浦ノ中ノ
サレハ夷人ノ飲ミ水モコノ流ニ三度トウタヒ又

水ニ瘴癘ハ氣アリテ飲ムモノソノ毒飲ム人ヲ
シテ年経テ後モソノコトモウタヒ毒飲ム人ヲ
戒ヤシ
...

佐渡志 形勝

此國ノカタ千山マタ山ヲナリテ海ノ面ニ卧
横タハレルカ其中断テ垣ラカナル所ニ田多ク
開ケ湖港エ又遠ク是ヲ望ムニ其地勢ニワニ分
シタルカ如シサテソ土人ノ詞ニ大佐渡小佐渡
トモイヒ習ハシタルニヤ大ム子山深カラスト
イヘニ必險シク川濶カラストイヘニ必清ラカ
ナリ國ノ周リニアル村里多クハ山ニ背キ海ニ
向ヒ或ハ岸ソハタチ巖スルトニ或ハ汀浅ク石

① 圖面

出テ潮ノ聲常ニ怒リ大船ヲヨスヘキ所殊ニ大
シ實ニ天下ノ絶險トヤイフヘカラム今ノ府治
ハ善鳥知ノ郷相川里古加茂郡内地北ニ於ルハ
條ハ出建置リニアリテ東ノ方銀山ニ倚リ西ノ方
大海ニ臨ミ南北皆澗ヲ帯テ七十餘銜其中ニ開
ケタリ雜太郡東ニ長谷小倉ノ山々續キテ北ハ
名ニシオフ北山ノ峯秀テタリ其西ノ麓ヨソ相
川ノ銀山ニハアリケレ浦ハ西南ニ折シテ南ニ
入海ノ眺望アリ西ハ大海ソノ限ヲ知ラヌ象緯
家カ言ニヨルニマサシク異邦ノ地ナルヘシ

加茂郡東ニ米山國見山アリ北ニ大山巔山金剛
檀特ノ諸山競ヒタテリ東ノハツレ水津ノ岬ヨ
リ南ニ續ケル浦々ハ越後ノ國ト海ヲ隔テ、相
ノソミ北ノハツレ鷲崎ノ彈野トイフ所ヨリハ
出羽ノ山々反カニ見エテ中ニモ聳ヘタルハ鳥
海山ナリ西ノ方海ノ限リヲ知ラサルコトハ雜
太郡ニ同シカルヘシ此郡ニ湖アリ海ヲ隔ツル
ニ只一條ノ長洲ヲ以テス其洲ノ十カハニ橋ア
リテ水ト潮ト相通ヘルサコ殊ニメツラカ也
羽茂郡山必シモ高カラ子ト慶蒸山新倉山ノ夕

図面

口号

クヒ觀ツヘキ所殊ニ多シ加茂郡ニ續キタル方
 ハ近ク越後ノ浦々ヲ望ムコト又同シ甘マナリ
 三岬トイフアタリヨリ遠ク越中能登ノ山々マ
 テヲ望ム此郡ニ小木ノ浦アリ海門トサセルカ
 如ク浪常ニ穩ナレハ國々ノ船トモ来リ湊ヒテ
 有ルヲ以テ無キニ易フ此國ノ咽喉トトモイ
 フヘキニヤ但路程ノ長短海巖ノ險峻ニイメリ
 テハタトヒ筆力ヲツイヤストモ容易ク其真ヲ
 述ルコトアタハスヨリテ縮図ヲ出シ辨覽ニ備
 ヘツ

図面

口号

佐渡志

田土

古ヘノ人イヘラク民ハ國ノ本ナリ本固キトキ
 ハ國安シトソサレハ民食ノ出ル所民命ノ繫ル
 処田土ノ外又何カアラムワトメスハアルヘク
 ラス是ヲ記スコト詳ニセハ亦本ヲ固フスルノ
 タステナラムカ然レトモ土ノ沃瘠田ヲ美惡一
 村ノ中トイヘトモ既ニ同シカラス况ヤ二百六
 十餘村悉ク舉ルニ暇アラムヤ大旨其土ハ紫赤
 黒ノ真土ニシテ多クハ石ヲシリ砂ヲヒリ土ノ

② 田面

輕キ処モアレト僅ニ指ヲ折ルハカリナルヘシ
是故ニ農器鋤ヲ用ヒテ鋤ヲ用ヒス海濱ノ村里
ハ年々風ノタメニ傷ラル、ヲ以テ多ク早稻ヲ
作ルナリ水旱ハ甚稀ナル國ナレトモ時トシテ
此災アルハ皆溝洫池堤ヲ修スルノ怠レルヨリ
發レリトモイハ、イヒツヘシ雪多ク霜サキモ
此國ノ一幸ナルヘシ總テ百穀育セザルモノナ
シトイヘトモ稻ハ殊サラ土地ニカナヘルカ故
ニ他方ニ刈クラフレハ水田多ク陸田少シ畜ノ
國府ノワタリハ一圓ノ平田ニテ大凡一國ノ田

租半ハ此所ニツホ、其餘ハ悉ク山田ニテ然モ
養水乏シカラス且貉兔ノ外ハ山獸ナレハコ
シカ爲ニ作物ヲ荒サレノ患ナシスヘテ地力
ヲ盡スニ易キ國ナリ今田土ヲ記シテ引テソノ
糧額ニ及ヘリ
延喜延長ノ頃此國正税三萬八千束公廩八萬束
國分寺料一萬束同寺新藥師佛燈分料五百束文
珠會料一千束修理池溝料一萬束救急料三萬束
俘囚料二千束ト記サレタリ_{延喜式}其田土ノ廣
サチハ載ラレストイヘトモ推テ知ルヘシ此時

田租ノ外ニ調アリ庸アリ中男トイフアリ委
クハ令義解ニ見エタリ此國ノ調庸ニハナラヒ
ニ布ヲサケ中男ハ作物布艘ヲサケトイヘ
リ延喜式又運漕ノ功賃陸路ハ駄別箱百八束海
路ハ此國ヨリ敦賀ニイタル船賃石別一束曲把
挾抄八十五束水主五十束敦賀ヨリ塩津ニ至ル
ニ駄賃米一斗六升塩津ヨリ大津ニイタルニ船賃
石別米二升屋賃石別一升挾抄六斗水主曲斗大
津ヨリ京ニイタルニ駄賃米八升十リ自餘ノ雜
物斤兩米ニ准ストアリ延喜式是ヲハ緒餘ナレ

トモ古ヘチ見ツヘキカタノ出セリ
天曆ノ前後ニヤ源朝臣順ノ和名類聚鈔ヲ撰ハ
レシトキ田三千九百六十町曲段正税三萬八千
束公廩八萬束本穀二十五萬千五百束雜穀十三
萬三千五百束トアリ田土ノ廣狹ノ記録ニ見エ
シハ是ヲソ始トスヘキ此後鎌倉ノ改トナリシ
マテ田賦ノコト記セシモノヲ見ス
室町家ノ時田曲千八百七十町ト記セシモノア
リ拾芥其頃ハ拾貫百貫ナトイフコトニテ租税
ヲ定メタリシコト自餘ノ國ニ均シ其證ハ古文

康永山車山車京河津

任書入	六月廿七	同
任書入	六月十八	同
任書入	六月十八	同
任書入	六月八	同
任書入	六月六	同
任書入	十一月十二	同
任書入	十一月六	同
任書入	十一月八	同
任書入	十二月廿	同
任書入	十二月廿	同

任書入	二月廿	同
任書入	二月八	同
任書入	二月廿	同
任書入	二月廿九	同
任書入	四月廿	同
任書入	康永二年六月	同
任書入	同上	同

康永二年六月

且祐以貞末

源進

佐渡國の各村の成金年記の事

一 佐渡國の各村の成金年記の事

一 國東市 源進の村 成金年記

一 喜長殿の村 源進の村 成金年記

一 佐渡國の各村の成金年記の事

一 佐渡國の各村の成金年記の事

一 佐渡國の各村の成金年記の事

一 佐渡國の各村の成金年記の事

一 佐渡國の各村の成金年記の事

右の解状の件

貞和二年二月 源進有

地頭ノ未年ニイタルマテ此制ニテアリシト見

エテ天正九年ノ十二月瀉上村ノ地頭本間偏本

齊高秀カ湖鏡庵ニ寄附ノ状ニモ幾貫幾百地ト

称シ又村名ニモ三拾貳貫村貳拾五貫村十ト今

ニ残り金丸本卿モ慶長ノ末マテハ金丸百貫村

トソイヒタリケル

天正十七年己丑上秋家コ、ヲ併セ領セシヨリ
幾外トイフヲモテ稱セシト見エテ其年ノ霜月
黒金尚信カ波太郡熊野ノ祠官ニアタヘシ状ヲ
始トシテ熊野堀ノ悉シカリ百石トイフハ京升
ニテ八斗曲升ナリトイヘリ古文
慶長三年戊戌上秋家所領ヲ奥ノ會津ニ移サレ
テ此國豊臣家ニマ井ラセシ後モ租税ノコト、
モ奮キニ依ヒトソ見ユ然ルニ此後封ノコト其
名ハ戊戌ノ春ニ發シ其實ハ明ル曲年己亥ノ夏
ニ至リテ上秋ノ家臣黒金須賀カ輩ヨリ河村吉

久齋賦ニ此地ヲワタシケルニヤ五年庚子ノ九
月一國檢地トイフ事アリ其檢地牒トテ傳ルヲ
見ルニ今ノコトク田圃ヲ丈量シテ地位ヲ極メ
タルモノニアラス唯幾百石或ハ幾束幾把石見
出幾束石トアリテ下ニ田主トオホシクテ誰ト
記シタルナリ其時ノ糧額雜記ニノセシモ見ユ
タシト疑ハシキコトアレハ爰ニ記サス
同シキ六年辛丑關東ノ御料ニ併セラレテ萬制
度モタナタレトイマタ檢地ナトイフ事ニモ及
ハス唯幾千幾百石何石何斗ノ稱ニ改メタル

マテニアリケム其後元和三年丁巳國中屋敷檢
地アリ近世マテモ此國ト隱岐トハ田租ノニア
リテ圃ノ租稅ハ十カリシトイフ説アリ田圃此
近世トイヘルハイツノ頃ナサスニヤ詳ナラス
元和七年辛酉ノ收納ヲ記セルニ米貳萬千三百
五十八石四斗三升八合ノウチ五百拾石一斗六
升永引ト云モノニテ残ル貳萬八百四十八石貳
斗七升八合ヲ定納トス此外銀納アリシトイヘ
トイクハ夕ニヤ記セシモノナシ後慶安ノコロ
新田年々三開ケ元録改元ニ及テ收納ノ米貳萬

由千三百貳拾九石五斗五合八夕ノ中千貳百九
拾七石貳升七合貳夕ハ永引残ル貳萬三千三拾
貳石四斗七升八合六夕此外ニ山後米トイフモ
ハ八拾八石貳斗貳升七合及ヒ地子ト云モノ貳
千六拾壹石四斗九升四合八夕ノ中百拾八石四
斗七升壹合五夕ハ永引ニテ残ル千九百四拾三
石二升三合三夕ナハ銀ニカヘテ納ムトイヘリ
同キ六年癸酉國司萩原重秀ウケタマハリテ一
國檢地アリ其事ニアツカレルモノ甚多ク内藤
兵右衛門山田與次兵衛トイフモノコレヲ総テ

翌七年甲戌其功ヲ終ヘテ田六千三百九拾三町
四段五畝貳拾五步圃三千四百拾三町七段貳拾
九步總テ九千八百七町壹段六畝貳拾四步糧額
拾三萬三百五拾五石九斗八合十十レリ委シク
ハ官ノ簿籍ニ載テレタレハコトニ出サズ是ヲ
引後開墾シタルヲハ皆新田ト唱フルナリ今國
中ノ田圃ノ廣狹左ノ如シ
後尾村田三拾町九段餘圃四町九段餘糧額四
百六拾九石五斗三升三合

石花村田貳拾九町五段餘圃六町五段餘糧額四
百六拾壹石五斗壹升八合
北斤邊村田拾九町四段餘圃拾町餘糧額三百九
拾五石貳斗八升四合
南斤邊村田拾九町九段餘圃五町三段餘糧額三百
五拾三石六斗七升四合
戸中村田三拾六町三段餘圃拾八町九段餘糧額
六百七拾四石四斗三升七合
戸地村田三拾三町餘圃拾四町五段餘糧額六百
七拾石五斗貳升六合

产地炭町圃壹段餘糧額八斗七升貳合

北狄村田六拾貳町六段餘圃貳拾八町貳段餘糧額千貳百六拾三石壹斗三升九合

姬津村圃貳町壹段餘糧額拾五石三斗八升六合

達者村田三拾壹町貳段餘圃三拾貳町五段餘糧額八百四拾貳石三斗八升七合

小川村田四拾町壹段餘圃五拾町八段餘糧額千五百五石五斗三升六合

下相川村田拾三町壹段餘圃拾五町貳段餘糧額二百八拾三石貳斗壹升三合

相川町田三段餘圃四拾三町壹段餘糧額由一百貳拾五石六斗八升三合

羽田村田四町八段餘圃拾町四段餘糧額百四拾四石八斗五升四合

下戸村田九町餘圃拾八町餘糧額貳百六拾壹石三斗三升六合

海士町圃壹段餘糧額九斗五升八合

鹿伏村田六町九段餘圃貳拾四町五段餘糧額貳百八拾八石六斗九升八合
大浦村田拾貳町三段餘圃貳拾貳町三段餘糧額

四百貳拾七石貳斗貳升九合

高瀬村田七町六段餘圃貳拾八町三段餘糧額二

百五拾貳石七斗八升五合

橋村田拾三町七段餘圃貳拾壹町六段餘糧額四

百貳拾六石貳斗五升七合

稻藪村田壹町四段餘圃四拾町八段餘糧額二百

五拾石壹斗八升壹合

米卿村田壹町四段餘圃拾壹町五段餘糧額八拾

五石四斗三升壹合

二見村田三町貳段餘圃九段餘糧額百拾七石三

斗五升五合

澤根村田六拾六町四段餘圃四拾九町四段餘糧

額千七百拾貳石八斗壹升九合

澤根町圃壹町九段餘糧額貳拾三石九斗三升六

合

五十里籠町圃壹町六段餘糧額拾貳石三斗三升

六合

田中村田拾六町三段餘圃拾五町貳段餘糧額四

百四拾石九斗壹升三合

西五里村田拾九町六段餘圃拾壹町三段餘糧

額曲百八拾五石九斗壹升三合
東五十里村田拾六町餘圍六町六段餘糧額三百
五拾九石壹斗九升六合
五十里本卿田貳拾壹町八段餘圍九町餘糧額五
百拾貳石五斗四升五合
五十里炭屋町圍八段餘糧額五石七斗八合
窪田村田貳拾八町貳段餘圍拾貳町六段餘糧額
六百五十五石五斗六升七合
河原田諏訪町圍五町四段餘糧額曲拾壹石三斗
四升

同本町圍五町三段餘糧額五拾八石九斗六升壹
合
同裏町圍壹町六段餘糧額拾三石貳斗壹升壹合
同大坂町圍七段餘糧額七石貳斗七升
同塩屋町圍曲段餘糧額三石八斗八升六合
同田町圍壹町三段餘糧額拾三石壹斗八升七合
八幡町田三畝餘圍五町五段餘糧額三拾八石九
斗六升
八幡新町圍五町八段餘糧額貳拾四石貳斗五合
上八幡村田曲拾八町七段餘圍拾貳町五段餘糧額

九百四拾五石六斗壹升六合
下八幡村田八拾壹町六段餘圃拾六町七段餘糧額
千五百八拾六石七斗四升八合

辰己村圃六町七段餘圃及高場

曲日町村田貳拾九町壹段餘圃五町貳段餘糧額

五百拾八石九斗四升也合

長石村田九町三段餘圃三町五段餘糧額八拾九

石六斗貳升貳合

新町村田七町三段餘圃拾貳町壹段餘糧額貳百

七石九斗七升四合

田町村田三段餘圃四段餘糧額九石壹斗七升貳

合

真野村田三拾町七段餘圃拾六町九段餘糧額五

百八拾壹石七斗貳升七合

吉岡村田六拾八町六段餘圃四拾壹町四段餘糧

額千五百七拾九石壹斗壹升

名古屋村田九町五段餘圃四町七段餘糧額二百

九石三斗六升七合

阿佛坊村田壹町三段餘糧額貳拾石三斗六升五

合

竹田村田七拾三町三段餘圃貳拾九町餘糧額千五百九拾三石貳斗九升九合
國分寺村田四町六段餘圃五畝餘糧額六拾三石壹斗四升
大川村田拾四町壹段餘圃八町五段餘糧額三百貳拾七石七斗貳合
北村田拾町四段餘圃五段餘糧額百七拾貳石五斗壹升三合
馬場村田拾七町七段餘圃壹町六段餘糧額三百五拾壹石三斗九升四合

三宮村田七拾三町四段餘圃拾壹町六段餘糧額千四百八拾七石六斗五升壹合
宮浦村田四拾五町三段餘圃拾町六段餘糧額八百三拾三石壹斗八升九合
後山村田七拾壹町貳段餘圃三拾六町五段餘糧額千四百三拾石六斗九升四合
河内村田貳拾五町餘圃八町餘糧額五百三拾六石三斗六升九合
大久保村田拾三町九段餘圃貳拾町貳段餘糧額三百四石貳斗貳升七合

猿八村田貳拾貳町餘圃拾三町貳段餘糧額由百
三拾九石由升六合
小倉村田百三拾由町由段餘圃百八町六段餘糧
額三千貳拾五石三斗貳升八合
長谷村田五町壹段餘糧額八拾五石貳斗八升六
合
坊々浦村田拾五町九段餘圃五町九段餘糧額三百
由石六斗八升
貳拾五貫村田拾五町八段餘圃五町三段餘糧額
三百三拾九石七斗八升四合

三拾貳貫村田拾六町七段餘圃六町五段餘糧額
三百六拾六石壹斗七升九合
栗野江村田由拾由町五段餘圃貳拾三町五段餘
糧額千拾九石由斗由升六合
船代村田三拾由町由段餘圃貳町六段餘糧額六
百由拾六石壹斗五升三合
下村田三拾六町由段餘圃三町壹段餘糧額六百
八拾由石八斗貳合
皆川村田由拾七町由段餘圃貳町八段餘糧額七
百六石貳斗由升五合

目黒町村田七拾三町六段餘圃拾五町五段餘糧
額千四百貳拾石四斗四升七合
寺田村田四拾五町四段餘圃拾四町貳段餘糧額
八百七拾八石八斗五合
畑方村田七拾八町五段餘圃三拾三町六段餘糧
額千七百五拾石三斗三合
畑本郷田七拾三町五段餘圃三拾壹町三段餘糧
額千六百貳拾八石四斗九升貳合
安國寺村田六町七段餘圃壹町四段餘糧額百三
拾石六斗三升九合

金丸村田三拾五町六段餘圃四町五段餘糧額五
百八拾六石三斗三合
金丸本郷田四拾三町三段餘圃九町壹段餘糧額
七百貳拾五石七斗七升六合
中原村田三拾壹町六段餘圃八町貳段餘糧額六
百貳拾石六斗貳升三合
石田村田貳拾三町六段餘圃拾町九段餘糧額五
百三拾九石三斗八升六合
二宮村田四拾六町九段餘圃拾町七段餘糧額千
拾九石八斗五升三合

青野村田四拾八町壹段餘圃拾壹町四段餘糧額
千拾壹石七斗五合
山田村田六拾九町九段餘圃拾五町六段餘糧額
千四百貳拾壹石貳斗貳升八合
真光寺村田六拾七町七段餘圃拾七町七段餘糧
額千貳百三拾三石三斗七合
平清水村田五拾壹町貳段餘圃拾六町八段餘糧
額千百拾石貳升九合
市野澤村田三拾八町七段餘圃貳拾四町貳段餘
糧額八百八石壹斗貳升八合

上長木村田貳拾九町九段餘圃三町八段餘糧額
四百三拾壹石六斗四升七合
下長木村田貳拾壹町七段餘圃貳町六段餘糧額
三百九拾八石壹斗三升七合
上矢馳村田貳拾六町貳段餘圃四町九段餘糧額
四百六拾九石七斗九升貳合
下矢馳村田六拾壹町八段餘圃拾貳町八段餘糧
額千百五拾八石九斗三升
牛込村田三拾壹町壹段餘圃拾六町餘糧額七百
貳拾六石七斗八升貳合

當野平村田拾壹町壹段餘圃壹町七段餘糧額貳
百拾七石貳斗四升九合
和泉村田五拾三町五段餘圃拾四町糧額千四拾
七石六斗壹升九合
藤津村田拾八町八段餘圃貳町九段餘糧額三百
拾貳石九斗五升六合
上中與村田八拾壹町壹段餘圃三拾貳町七段餘
糧額千六百三拾石六斗八升三合
下中與村田五拾八町九段餘圃貳拾壹町餘糧額
千百五拾石八斗六升三合

本屋敷村田貳拾四町六段餘圃拾壹町餘糧額五
百貳拾八石四升四合
大和田村田五拾貳町四段餘圃三拾町七段餘糧
額千壹石九斗四升八合
西方村田九拾町七段餘圃三拾四町餘糧額千六
百八石八升四合
新保村田百貳拾五町八段餘圃七拾壹町九段餘
糧額貳千五百七拾九石八斗九升
貝塚村田五拾五町六段餘圃拾九町餘糧額九百
六拾八石六斗五升五合

東立嶋村田五町九段餘圃六町七段餘糧額八拾
石壹斗八升壹合
強清水村田貳町壹段圃四町貳段餘糧額四拾石
三斗四升五合
野浦村田拾貳町六段餘圃拾六町貳段餘糧額貳
百貳石八斗貳升
月布施村田拾四町三段餘圃貳拾壹町九段餘糧
額貳百六拾六石五斗五升三合
斤野尾村田拾九町九段餘圃貳拾貳町七段餘糧
額三百七拾六石六斗七升三合

水津村田五町餘圃七町餘糧額百貳拾五石九斗
六升壹合
大川村田拾三町九段餘圃八町五段餘糧額百九拾
壹石四升三合
羽丹生村田拾三町壹段餘圃六町七段餘糧額貳
百拾三石九升貳合
西尾村田三拾四町八段餘圃拾四町七段餘糧額
六百四拾壹石九斗四合
推泊村田四拾貳町九段餘圃貳拾五町六段餘糧額
八百五拾九石貳斗八升貳合

三分一村田八町六段餘圃貳町八段餘糧額百八
拾五石七斗五升八合
河崎村田六拾八町餘圃三拾八町五段餘糧額千
五百貳拾五石四斗九升六合
久知河内村田貳拾五町三段圃九町五段餘糧額
四百貳拾五石壹斗七升九合
下久知村田四拾四町七段餘圃貳拾壹町九段餘
糧額九百九拾九石貳升六合
城腰村田三拾貳町八段餘圃貳拾町七段餘糧額
八百七石六斗三合

原黑村田九町九段餘圃貳拾三町餘糧額四百三
拾五石五斗貳升四合
住吉村田拾七町七段餘圃拾七町餘糧額五百拾
三石壹斗八升四合
青木村田九拾三町三段餘圃貳拾九町四段餘糧
額千九百七拾四石六斗九升五合
瓜生屋村田四拾七町七段餘圃貳拾町七段餘糧
額千九拾九石八斗四升貳合
善光寺村田五町三段餘圃五町餘糧額百三拾三
石五斗壹升九合

大野村田百三拾六町五段餘圃貳拾四町九段餘
糧額貳千三百六拾三石五斗八升貳合
武井村田三拾壹町六段餘圃五町七段餘糧額五
百九拾石壹斗三升三合
新穂町圃壹町八段餘糧額貳拾壹石七斗七升壹
合
北方村田九拾七町八段餘圃拾貳町四段餘糧額
千六百九拾四石七斗貳升貳合
谷塚村田六拾七町六段餘圃貳拾壹町貳段餘糧
額千貳百九拾七石五斗三升三合

瀉上々組田四拾八町六段餘圃五拾四町餘糧額
千貳百四拾八石九斗七合
瀉上下組田五拾貳町九段餘圃貳拾六町四段餘
糧額千百三拾壹石五斗八升貳合
田野澤村田貳拾七町四段餘圃拾貳町八段餘糧
額四百九拾四石貳合
正明寺村田三拾貳町三段餘圃貳拾四町五段餘
糧額五百五拾九石壹斗貳升三合
井内村田拾七町五段餘圃五町四段餘糧額三百
三拾七石三斗五升壹合

上新德村田六拾曲町三段餘圃貳拾曲町六段餘
糧額千貳百三拾六石七斗六升五合
下新德村田八拾町五段餘圃八町餘糧額千四
百七拾五石壹斗五升壹合
長畝村田三拾町五段餘圃拾曲町五段餘糧額五
百五拾九石五斗九升五合
二方瀉村田五拾曲町五段餘圃貳拾壹町三段餘
糧額九百八拾五石三斗三升八合
船津村田三拾町九段餘圃九町三段餘糧額四
百拾石壹斗三升九合

中嶋村田貳拾壹町六段餘圃五町三段餘糧額三百
拾曲石四斗五升三合
馬場村田拾三町六段餘圃七町餘糧額貳百九石
五斗七升三合
横谷村田貳拾貳町貳段餘圃拾町八段餘糧額貳百
九拾五石九斗八升七合
吉井本郷田五拾七町八段餘圃五拾壹町七段餘糧額
千百拾七石七斗八升四合
吉井上町田八步圃壹町三段餘糧額六百七斗五升六合
吉井下町田壹畝餘圃三町貳段餘糧額拾三石壹斗六升三合

立野村田拾七町六段餘圍拾八町壹段餘糧額貳百
七拾七石貳斗六升
安養寺村田拾五町六段餘圍五町九段餘糧額貳
百六拾九石貳斗八升四合
上横山村田曲拾五町三段餘圍拾六町餘糧額六百八
拾石六斗五升四合
下横山村田貳拾町餘圍拾貳町壹段餘糧額三百
八拾七石壹斗九升壹合
三瀬川村田三拾貳町九段餘圍貳拾七町七段餘糧
額六百拾九石八斗五升五合

水渡田村田曲拾四町三段餘圍三拾三町貳段餘
糧額八百貳拾壹石五斗九合
細屋村田八町曲段圍六町壹段餘糧額百七拾貳
石九斗八升七合
青龍寺村田拾六町九段餘圍貳拾壹町曲段餘糧
額三百拾七石貳斗六合
瀉端村田貳拾壹町六段餘圍貳拾貳町九段餘糧
額四百曲拾三石八斗三升
菟米村田貳拾五町五段餘圍拾壹町貳段餘糧額
四百六拾壹石壹斗壹升

釜屋村田曲拾九町貳段餘圍三拾壹町八段餘糧
額千九拾壹石六斗八合
長江村田曲拾九町九段圍貳拾壹町八段餘糧額
八百七拾五石六斗貳升九合
加茂村田三町餘圍曲拾町餘糧額貳千百石壹斗
七升四合
歌代村田曲拾九町五段餘圍貳拾壹町曲段餘糧
額千拾貳石曲斗七升貳合
淡町圍曲町三段餘糧額曲拾九石壹斗六升貳合
夷町圍三町五段餘糧額曲拾貳石六斗八合

夷新町圍六段餘糧額五石曲斗七升四合
梅津村田六拾七町貳段餘圍曲拾八町壹段餘糧
額千三百曲拾石六斗八升三合
羽黒村田三拾三町餘圍拾七町七段餘糧額七百
六拾貳石七斗六升五合
吉住村田拾町曲段餘圍五町曲段餘糧額貳百拾
壹石壹斗六升三合
椿村田貳拾町曲段餘圍五町六段餘糧額三百貳
拾五石貳斗四升八合
北五十里村田拾壹町貳段餘圍三町貳段餘糧額

貳百八石九斗壹合
白瀬村田貳拾町三段餘圃三町七段餘糧額貳百
八拾六石四斗七升七合
小松村田八段餘圃五段餘糧額拾貳石六斗六升
八合
玉川村田四町九段餘圃壹町餘糧額六拾三石三
斗八升壹合
坊ヶ崎村田貳町三段餘圃壹町六段餘糧額三拾
九石五斗三合
和木村田八町六段餘圃壹町六段餘糧額百七石

曲斗貳斗四合
馬首村田八町貳段餘圃貳町五段餘糧額百拾壹
石八斗九升五合
北松ヶ崎村田四町三段餘圃壹町四段餘糧額六
拾貳石九斗六升八合
平松村田壹町五段餘圃四町餘糧額曲拾壹石八
斗八升七合
浦川村田八町七段餘圃三町三段餘糧額百七拾
貳石貳斗壹升六合
歌見村田拾貳町壹段餘圃貳町七段餘糧額百六

拾壹石八斗五升
黒姫村田貳町曲段餘圃貳町曲段餘糧額四拾七
石七斗五升五合
虫崎村田貳町曲段餘圃三町三段餘糧額四拾石
貳斗九升八合
北小浦村田拾町六段餘圃三町五段糧額百貳拾
四石五斗七升
見立村田曲町五段圃壹町九段餘糧額六拾六石
四斗五升六合
鷲崎村田拾町八段餘圃貳拾九町曲段餘糧額

三百拾九石壹斗壹升四合
願村田五町餘圃曲町餘糧額七拾壹石四斗五升
三合
北鶴鳴村田拾壹町貳段餘圃曲町三段餘糧額百
五拾三石壹斗四升四合
真更川村田九町貳段餘圃貳町六段餘糧額百拾
三石八斗三升三合
岩谷口村田八町餘圃貳町七段餘糧額百貳拾八
石三斗三升九合
五十浦村田五町壹段餘圃壹町三段餘糧額七拾

八石九斗五升八合
關村田拾四町貳段餘圃拾町四段餘糧額貳百六拾四石四斗九升七合
大柄村田五町六段餘圃貳町九段餘糧額百壹石四斗壹升七合
大倉村田九町八段餘圃五町餘糧額百八拾壹石八斗壹合
小田村田拾六町三段餘圃五町三段餘糧額貳百六拾七石壹斗七升六合
石名村田貳拾貳町六段餘圃拾町八段餘糧額四

百拾壹石七斗九升七合
小野見村田拾七町貳段餘圃三町八段餘糧額貳百七拾壹石四斗壹升
田野浦村田三拾五町壹段餘圃九町貳段餘糧額五百五拾七石貳升五合
高下村田貳拾町五段餘圃四町九段餘糧額三百四拾九石三合
千本村田拾五町貳段圃五段餘糧額貳百七拾四石九斗四升六合
入川村田三拾八町三段餘圃七町四段餘糧額五

百九拾五石壹斗四合
立嶋村田貳拾四町三段餘圃五町餘糧額三百七拾壹石七斗
河内村田貳拾壹町貳段餘圃七町五段餘糧額三百四拾三石八斗貳升九合
以上百々村田貳千五百四町餘圃十三百拾町壹段餘糧額四萬七千四百六拾七石壹斗貳升
羽茂郡
洪手村田四拾町五段餘圃拾七町三段餘糧額八百四拾九石七斗貳升貳合

瀧服村田八町四段餘圃八町八段餘糧額貳百四拾四石九斗三升九合
背合村田三町七段餘圃拾町壹段餘糧額一百四拾五石五斗六升九合
大須村田五町八段餘圃拾壹町餘糧額一百四拾壹石九斗八升
笹川拾八枚村田五段餘圃八町三段餘糧額三拾六石六斗三升貳合
小立村田四町八段餘圃五町八段餘糧額一百貳拾貳石八斗貳升五合

大立村田六町四段餘圃拾町貳段餘糧額貳百三
石三斗七升五合
倉谷村田五町五段餘圃拾貳町七段餘糧額貳百
拾壹石八斗五升五合
田切須村田四町七段餘圃拾六町六段餘糧額貳
百四拾五石三斗壹升貳合
西三川村田拾町三段餘圃拾五町壹段糧額貳百
九拾四石九斗貳升貳合
高崎村田六町壹段餘圃九町八段餘糧額百八拾
貳石四斗七升七合

椿尾村田拾壹町貳段餘圃拾八町壹段餘糧額三
百三拾三石五斗五升五合
小泊村田三拾貳町六段餘圃三拾七町四段餘糧
額七百五拾七石六斗壹升七合
龜照村田五町壹段餘圃七町貳段餘糧額七拾五
石六斗壹升九合
堂釜村田三町四段餘圃六町五段餘糧額七拾三
石六斗三升五合
井坪村田五段餘圃五町五段餘糧額四拾五石貳
斗四升貳合

大浦村田曲町三段餘圃八町四段餘糧額百七石
曲斗七升
池野平村圃貳町貳段餘糧額拾貳石四斗四升壹
合
木流村田貳町壹段餘圃五町七段餘糧額六拾六
石八斗九升三合
田野浦村田貳町壹段餘圃七町七段餘糧額七拾
六石三斗九升三合
江積村田三町餘圃五町四段餘糧額六拾八石壹
升貳合

白木村田壹段餘圃貳町貳段餘糧額拾三石七斗
貳升貳合
澤崎村田九畝餘圃八町四段餘糧額六拾四石九
斗九升
深浦村圃六町三段餘糧額曲拾八石六斗七升壹
合
大神平村圃曲町曲段餘糧額貳拾七石六斗
強清水村田三段餘圃七町八段餘糧額五拾石三
斗六升六合
宿根木村田壹町八段餘圃三拾町七段餘糧額貳

百九拾貳石九斗七升六合
小木村田五町四段餘圃貳拾九町八段餘糧額三
百七石九升六合
小木町村田四町七段餘圃三拾三町三段餘糧額
四百拾四石壹斗九升九合
木野浦村田五町四段餘圃拾三町八段餘糧額百
八拾壹石五斗九合
村山村田三拾町九段餘圃三拾八町六段餘糧額
七百五拾貳石九斗四升六合
上山田村田貳拾貳町八段餘圃貳拾貳町八段餘

糧額四百六拾五石貳斗七升五合
下黒山村田拾四町壹段餘圃拾三町四段餘糧額
貳百貳拾九石六斗九合
下川茂村田四拾八町五段餘圃三拾九町七段餘
糧額九百七拾八石六斗四升壹合
滝平村田四拾九町四段餘圃五拾貳町五段餘糧
額千四拾九石九斗貳升九合
大崎村田三拾町九段餘圃五拾壹町八段餘糧額
七百五拾七石壹斗七升九合
飯岡村田拾九町貳段餘圃六町壹段餘糧額四百

貳拾三石三斗貳升三合
羽茂本郷田百拾三町五段餘圃百拾壹町餘糧額
貳千七百八拾貳石八斗八升壹合
西方村田貳拾九町三段餘圃貳拾七町八段餘糧
額七百四拾壹石九斗壹升六合
清士岡村田貳拾七町壹段餘圃拾貳町壹段餘糧
額六百貳拾貳石六斗六升六合
大石村田貳拾五町七段餘圃貳拾貳町四段餘糧
額六百八拾壹石五斗五合
大泊村田五町六段餘圃九町四段餘糧額百三拾

七石七斗六升壹合
野崎村田四町壹段餘圃拾壹町四段餘糧額百拾
六石壹斗七升
赤岩村田貳町九段餘圃八町六段餘糧額九拾貳
石八斗貳升三合
大秋村田六町壹段餘圃拾七町貳段餘糧額貳百
拾貳石貳斗四升四合
秋野浦村田九町餘圃貳拾貳町七段餘糧額三百
拾五石八斗八升九合
新保村田拾町七段餘圃拾七町七段餘糧額三百

七十貳斗壹升四合
柳澤村田六町七段餘圃拾壹町五段餘糧額百七拾九石貳斗七合
真浦村田五町餘圃八町八段餘糧額百四拾八石八斗六升三合
赤泊村田拾六町三段餘圃貳拾壹町五段餘糧額四百拾三石九斗三升九合
德和村田七拾壹町七段餘圃五拾八町壹段餘糧額千五百八拾七石九斗五升五合
上川茂村田貳拾三町九段餘圃九町九段餘糧

額三百七拾四石七斗壹升三合
外山村田九町餘圃八町七段餘糧額百九石四斗六升五合
腰細村田九町餘圃拾九町貳段餘糧額貳百貳拾九石四斗九合
山田村田貳拾壹町五段餘圃三拾壹町七段餘糧額五百八石四斗貳升八合
蓮場村田拾八町貳段餘圃貳拾町貳段餘糧額四百拾石壹斗六升三合
丸山村田貳拾貳町七段餘圃拾町三段餘糧額四

百三拾六石九升
河内村田拾七町五段餘圃八町九段餘糧額三百
貳拾五石六斗八升三合
多田村田拾町七段餘圃拾壹町六段餘糧額貳百
五拾四石貳斗七升六合
松ヶ崎村田拾五町餘圃拾四町七段餘糧額三百
拾九石貳斗壹合
以上六拾ヶ村田八百七拾八町九段餘圃十八拾
九町九段餘糧額貳萬千七百拾貳石七斗九升七
合

三郡貳百六拾ヶ村通計田六千四百拾四町四
段餘圃三千八百七拾九町八段餘糧額拾三萬貳
千三百八拾六石貳斗壹升八合

言三拾四九
河内村日
氣拾五
山村四拾
止拾四
拾九
中三
料積團三
三張

佐渡志

食貨

古へヨリ風土ヲ記スモノ食貨ノコトニ至テ必
ツフサニユレヲ論セリオホヨソ民ノ欲スル所
食ヨリ貴キハナク貨ヨリ重キハナレニツノ物
ノ足ルト足サルトヲ視テ土地ノ沃瘠風俗ノ盛
衰ニテ自ラ知ルヘシ況ヤマ又佐渡ノ國タル獨
大海ノ中ニアリテ隣國コトゴトク土壤ヲツラ
子ス若飢耗ノ年ニアハハ穀ヲ移シテ補ワムト
ストモ風波ノ沮ニキイカニトモスヘカラス夕

トヒ天地ノ惠ニヨリテ千歳コノ惠十カランニモ
猶ソノ備ヘテ十廿ムニハシカジコレ食貨ノ一
篇を闕ヘカラサル工工ハナリ然リトイヘトモ
今食ヲ足レ貸ヲ通スルノ改上ニ行ハレ産ヲ治
メ業ヲ勉メ民下ニ樂ムノトキナレハ更ニ論ヲ
立説ヲ設ルニ及ハス唯聞トコロノマニニ誌ル
テ後ノ考ヘニ備ルノニナレバモ、然レハ
米 米穀ノ多キ寡キ慶長ヨリ前ツカタノ事ハイヒ
傳ヘサレハ記シカダシ大久保長安國勢ヲ行ヒ

シヨリ人民年々ニ多キコトヲ加ヘテ食料既ニ
継ガリシカハ此國ノ米他ノ國ニ出スコトヲ停
ムルノニナラヌ海濱所々ニ問屋ヲ置テ越後出
羽陸奥等ノ國々ノ船ヨリ米多ク買取テ相川ニ
運漕シ價ヲ定メテコレヲ賣ラシム此商人米屋
ト呼フモノ三十餘人アリ今ノ米屋所ニ居レリ
又其米ヲ分チ買テ小賣トイフ事ヲスルモノ甚
多シ其價ハ元和ノコロ一石ニ後藤銀拾八文餘
後藤銀ハコト時 普ク通用ノ物云 寛永ニ至リテ貳拾目ノ内外也
又越後ノ國ノ御料所ノ租米ヲ移シテ民ノ食ノ

足サルヲ補ハレシ事モ度々ニ及ヒ元和八年壬戌一歳ニ移セルトコロ五千四百五拾六石壹斗九升六合ト記セリ然ルニ相川ノ地ハ極メテ口數ノ多カリケル故ニヤ、モスレハ穀之レク寛永十年癸亥ノ冬ヨリ明ル甲子ノ年ニイタリテ飢人多シ其頃ハ官廩ノ米ヲ出シテ賣シムル事月コトニ均シカラス市中ニ高フ米スクナキ時ハ出スコトヲ増シ多キ時ハ出スコトヲ減セリ慶安ノ初メ銀山衰へ相川ノ人寡リナリ從テ米價賤シク二年己丑ノ七月一石ヲ印銀貳拾貳文

ニ買フ此時金壹兩ニ後藤銀五拾六文印銀六拾五文五文三十一リ印銀ノ事ハ未ニ見ヘケリ後マメ價上リタレトモ寛文三年癸卯官米一石ヲ後藤銀貳拾三文ニ換レノムトアリシニ望ム人ナカリシトソ同シキ十一年辛亥去年ノ租米五千石ヲ海運シテ江戸ニ納メシメ又壹萬六千石ヲ江戸ノ商人正木屋半左門買フコトヲ許サレシカハ國中ノ米俄ニ乏シクナリシ折シモ近國ノ米一粒モ来ラス一石ノ價後藤銀八拾目ニテ猶水得カタリシトカヤサレハ市中ノ男女ハ金銀ヲ夕ツサヘナカラ餓死スルモノ多ク農家ノ意

十カリシトソキヨヘシ元ヨリ豪富トイフモ
ノ、ナキ國ナレハタ、己レ、カ餓ヲマヌカ
ル、ノミニテ價ニ易フヘキ穀ヲハ得貯ヘサル
ナルヘシ又、年壹萬五千石ヲ金一兩ニ一石七
斗七升ニテ江戸ノ商人^{本船町}買受ケレハ國人
ライヨ、ハ苦シメリシカレトモ前ノ年或ハ離
散シ或ハ餓死シテ口數既ニ減シタレハコトシ
ハ饑饉ノコト聞エヌ延寶四年丙辰マタ去年ノ
租米五千石ヲ運漕シテ江戸ニ納ルコトアリ天
和元年辛酉マテ六年ノ間年々カクノ如クナリシ

カ海上ヲ經ルノ久シキニヨリテ勞費亦タ多ク剩エ
其米^洋ハソコナヒテ金納ヲ交エ侍ラニ民賦ヲ
費シケレハ此後ハ此廻米ヲ銀ニカヘテ江戸ニ
納ム元禄七八年ノコロ國中ノ米價イヤシクナリテ
又五六千石一萬石ヲ他國ニ出サル、年ニヒアリテリ
同シキ十五年壬午冬一石ノ價印銀六十八文ニイタ
明ル癸未ノ年越後ノ米壹萬石餘ヲ買入テ民ノ食
トセリソノ頃ヨリ米穀他ノ國ニ出ルコト絶テ聞ヘ
サリシニ享保十六年辛亥官廩ニ米多ク積タレハ
己酉ノ年ノ租米ノ残レルヲ五千石越後ニ出シテ賣シメ

シヨリ年々マタ斯ノ如シ同シキ二十年乙卯始テ
凶農家ノ米四五十石ヲ他ノ國へ出し賣ルコトヲ
許シキコレ豐年ノ續ケル故ノミニアラス相川ノ人
數寡クナリテ食料餘リアリケルニヨレリ此年
ノ米價ハ記セシモノナシトイヘトモ三四年ヲ過テ
元文ノコロ米一石ニ印銀六拾目餘此時ノ印銀
ハ五徳ニ造
リ改タルニテ前ノ印銀ニ比スレハ大
キニ下リタルモナリ未ニクワシ 錢ニシテ
三貫又ハカリナリシニ寛保ノ初ヨリ寶曆三
年癸酉マテ十餘年ノホトハイワモ一石ノ價印
銀七拾三文ニアマリ明ル由年甲戌ノ秋ヨリ穀

漸々ニ乏シクナリテ六年丙子印銀九拾目ニ及
ヒテ鄉村ニ餓死ノ多カリシハ此時ナリ印銀九拾目
五百文ナリカハカリノ米價ナレハ相川市中トイヘトモ
飢ルモノナシ然ルニ農家ニノイ餓死アリシハカ+
ニソア故アルヘキト明和元年甲申去年ノ租米ヲ
大坂ニ移サレシヨリ後ハ年コトニ一萬由十石ヲ移サ
ルコト恒例トナリ此年出羽越後ノウチノ御料所ノ
租米ヲ此國ノ官廩ニ納メレムルハコトアリ程ナク
其事ヤミタリ總テ明和安永ノ間ハ米價均シカラ
ストイヘトモ民ノ苦シムニ至ラヌ安永七年戊戌一
斗ノ價錢貳拾七八文マテニ下リケルニ天明四年

甲辰ノ夏類リニ上リテ九拾文ヨリ百文ニ及フ然
シトモ御村ニ雜穀ノタクハヘアリケレハ自ラ有テ
以テ無所ニカヘ飢饉ニ至ルモナシ寛政二年庚戌ノ
冬又米價下リテ安永ノ末ノ如レコレヨリ前ツカメ官
米ノ價ヲ定ムルニ相川市中及雜田郡河原田町加茂
郡夷町羽茂郡小本町等スヘテ四ヶ所ノ米價ヲ平
均シテ定メ改ルコト奉テ西度ハ朋五月ナリシ寛
政三年辛丑ヨリ五年ノホトハ此外ニ越後出雲崎新瀉
ノ米價ヲ加ヘテ平均スルコトニナリ同シキ七年乙卯
マメアウタニ法ヲ立テ越後ノアタヒヲ

ハ問フニ及ハサレ事ニナレリ此時ノ事トモ長
ケレハ記スニ及ハス其後文化六年己巳ヨリ再
ヒ越後ノ價ヲ平均ニ用ヒタリシヲ同シキ十一
年甲戌其事ヲヤメラレテ寛政七年ノ趣ニナレ
リサテ又寛政ノ初メヨリハ官ニ穀ノ貯ヘアリ
民ニ助合穀ナトイフモノヲ置テ凶年饑歲ノ備
ヘ昔ニ比スレハ頗ル足レリトイフヘレ
金
慶長ヨリ元和ノ初メマテハ筋金ナハ竹流トイ
フ物ニナシ筋金ノ部ニ委レ碓金ハ拾七文ルマ

マ紙ニツ、ミテ曲又五文ヲ一兩曲拾五文ヲ一
枚ト定メ各運上ニモコレヲ供セリ竹流ノ制他ノ
國ニモアリケルニヤコ、ノ物ハ長廿六寸ハカ
リニ延テ重廿ハ三曲百目アリシトイヘリ乾和
馭言斯テ金銀年ヲ追テ多ク漏出ケレハ元和七
年辛酉關東ニ申レテ頃テ此年ノ七月朔日此國
ニテモ通用ノ小判ヲ作ラシムヘキノ命アリテ
後藤ノ手ノモノトモ下リ又其制ハ慶長ニ定メ
ラレシ如クニシテ筋金ヲ以テコレニ造リ砂金
ハ此後モ猶モ生レノマ、ニテ關東ニタテマツ

リケルカ寛永十五年己卯ヨリコノカタコレモ
吹成^{ニテ}納ルコトニナリ又此時砂金六文三分四厘
吹成テ慶長小判一兩ニ
付傳ヘタリ年ヘテ後延享四年丁卯寛延元年戊辰
砂金ノマ、關東ニ納シメタリシカ其後ハマタ
吹成ニテタテマツルコトニナリタリ

按スルニ是ヨリ後佐渡小判ノ極印ニ背ノ左
ノ方ニウナ添タル小印上ハ六アルヒハ馬ア
ルヒハ汝ノ字アリ下ニ神或ハ當ノ字アリ上
ナルハ小判師ノ印ニテ六ハ大須賀六郎兵衛
馬ハ相馬五兵衛汝ハ佐藤次右衛門トイフモ

ノ、印ナリ下ナルハ吹所ノ印ニテ神八斤山
甚兵衛當ハ上原藤左衛門トイフ者ノ印ナリ
寛永正徳ヨリ後ハ小判師共國ニ居ラヌ筋ノ
字ヲ以テ小判師ノ印ニ代ヘツ吹所ノ印ハ古
今變ラスト見エタリ
元禄八年乙亥吹カヘラル、コトアリテ同キ十
四年辛巳ヨリ共國ニテモ作レリ其別圖ノコト
寛永七年庚寅乾字金作ラレラレシトキ共國
ニテ吹タルモノ同ノ如シ

圖面

赤字

正徳四年甲午通用金ノ制改マリ明ル五年乙未
ヨリ享保九年甲辰マテ共國ニテ造ルモノ同ノ
如シ
元文元年丙辰今ノ文字金トイフモノニ改リケ
ルニ是ヨリ廿キ享保十年乙卯共國ノ山出金ハ
百兩ツ、ヲ延金ニナシテ江戸ニ納メ其餘リノ
百兩ニ滿タサルモノ、ニ通用ノ製ニ吹ナシテ
彼延金ヲ副テ納ルコトニテアリケルヲ元文四
年己未延金ヲ止テコト、ハク文字金ニ造ラレ
メラレシヨリ今ニ至ルマテカハルコトナシ其

形状ハ通用ノ物ヲ見テ知ヘケレハ因チ有ケリ
仿ノ字ナク小印ハコレモ筋神當ノ二様アリ
金錢ヲ換ル相場トイフコト此國ノ古キ日記ナ
トヲ見ルニ元ハ江戸ノ相場ヲ聞テ進退セシト
見工正徳四年甲午ノ夏金銀ノ合下リレ後一兩
ノ金ヲ錢曲貫三百ニ拾貳文ニ易ヘシメラレ元
文三年戊午ヨリ文字金一兩ヲ三貫文ニ換ヘシ
メラレシトモ皆此國ニテ定メルニハアラヌ
後ニ金ノ直ノホリテ一兩ヲ錢曲貫四百拾八
文ヲテニ換ヘケルニ寶曆十年庚辰ヨリ一兩曲

貫貳百文ヲ以テ官庫出納ノ定直ニシセラレケ
ルサレトモ國中年々ニ金貴ク錢賤シクナリレ
ユ正天明三年癸卯關東ニ申シテ明ル四年甲辰
ヨリ相川市中及ヒ雜太郎河原町加茂郡夷町羽
茂郡小木町曲ヶ所ニ越後ノ出雲崎新瀉ヲ加ヘ
テ都テ六ヶ所ノ相場ヲ平均シテ一兩ニ曲度月
五月八改メラルコトニナレリ其後年々フルニ
從ヒ金貴ク錢賤シクナリテ文化改元ノ年ヨリ
金一兩ノ直七貫文ニ下ルコトナシ
按スルニ佐渡ノ國三都會ノ地ヲ去コト甚ク

遠く其餘の國々トイヘトモ通商スヘキ地ハ
皆近カラ子ハ何ラノ賣買交易モ運送ノ貴
アルヲ以テ他方ニ向ヒテハ多ク金ノ用ヒ
テ錢ヲ用ヒヌサレハ此國ノ貨他國ニ去テ
國ノ内貧シキトキハ金先ツ乏シクナリ錢ハ
後レテ残ル故ニ自ラ金ノ直貴クナルナリ又
他ノ國ノ貨此國ニ入ルコト多クシテ國ノ内
富ルトキハ金先ツ多クナリテイツトナク錢
ノ直貴カルヘシコレヲ事猶未ノ條ヲ見テ
考ヘ知ルヘシ

銀

慶長ヨリ元和ノ初マテハ此國ノ民トモ私ニ金
銀ヲ吹テ物ニ換タルコト前ニイヘルカ如シ此
時ノ銀ヲ延吹銀トイフナリ又上銀トイフ物
アリ委シキ事ハ傳ハラストイヘトモ其制同ノ
コトシ
元和五年己未アラタニ一國限リ通用ノ銀八百
貫目ヲ造ラシ印銀ト名ツケテ後藤銀ニナラヘ
行ハシム其制大小輕重各均シカラマ極印ハ徳

通定印ノ出ツ中ニモ印ノ字キハ處々ニウキタ
ルヲ以テ印銀トイフナルヘシ位ハ上銀ニ比ス
レハ大ニ賤シキ物ニシテ寛永ノ中コロマテハ
年々ニ作リテ國用ヲ足タリ其直官ニテ金一兩
ヲ印銀五拾九匁四分ニ換ラレケルカ市中ニテ
ハ六拾貳三匁ニ易ルコトニテ後正徳ニ印銀吹
改メラルハニ至ルマテツイニカハラヌ此間通
用金ノ制ハ改リタレトモ印銀ヲ易ルノ直ハ舊
ノマニテアリシト云リ初ノ相川弥十郎所ニ
官局アリ寛永十九年壬午官廳ノ圓中ニ移ス正

保曲年丁亥火災ノ後印銀ノ數補ハレテヨリ後
ハ常ニ吹コトナク官局ハ唯出納ヲノミ事トセ
シト見ユサテ後藤銀ニハ其コロ此國ニ居ケル
庄三帛カキノモノ、餘業ニ出極印トイフモノ
ヲウタセシコト記セシモ往々ニ見エタレトモ
正保ニ年同四イカナル極印ヲカ用ヒケシ詳ナ
ラス萬治ノ初メ錢ノ通用始リ印銀一匁ヲ錢六
七拾文ニ易ヘタリ世界ニ金銀隠レ通用ハ弥繁
多ナルニ從ヒテ印銀他ノ國ニ流レ出又其民ヲ
偽造ノコトアラハレテ慶安四年辛卯嚴刑ニ處

スルモノ大工町八兵衛泉名坂羽田町清兵衛生原
生ノノ餘數人ニ及ヘリ此年國中ノ印銀ヲ吹改
メラレケルニ元和寛永ニ造ラレルハ夥シク失
セタリト見エテ僅ニ五百八貫五百貳拾七匁ノ
ミアリ餘ハ正保ノコロ造レルトコロニシテ極
印ノ文字ノ姿カハレリ偽造ノ物モ貳百八拾貳
貫三百九拾三匁九分マテアリケレハ上銀ヲ多
ク加ヘテ定メノ位ニ畝シタリ其數多カラムハ
他ノ國ニ溢出ルノ源トモナルヘシトテ總テ千
九百貳拾六貫百七拾壹匁貳分五厘ニ止マリ又

此時又極印ノ姿ハカハリケルニマ布目モ昔ハ
十カリシトイヘリ承應元年壬辰ニモ吹ルハコ
トアリタレトモ其制ハ慶安ノトキノ如シ正徳
ノ初ノ重子テ吹改メラル事アリ然ルニ慶安
ノ度貳千貫目ニ近カリシ印銀アキタ六拾年ノ
ホトニ過半失セテ國中ニ残レルトコロ僅ニ八
百貳貫曲百貳拾目九分ヲ官局ニアツム此度ハ
愈位ヲ引下ケテ今テマテノ印銀壹貫目ニ鈔五百
八拾目銅百目ヲ加ヘ千三百曲拾八貫九百九拾
曲匁ニ吹ナス此後ハ他ノ國ニ出ルコトヲノツ

カラ止ミタリ
正徳四年甲午ヨリ金一兩ニ印銀百六拾目印銀
壹匁ニ錢貳拾六文ヲ易ヘシメラレシク享保三
年戊戌十一月印銀壹匁錢三拾貳文ニナリ同シ
キ四年己亥十月三拾文ニナル又シカラスレテ
明ル庚子ノ三月旧ノコトク貳拾六文ニ換ヘシ
メラル元文三年戊午文金通用ノハシノ此圖ニ
テ印銀ニ易フヘキ法則ヲ立ラレムカタノ印銀
三百目ヲ江戸ニ出シ吹試ミラレケルカ百目ニ
上銀三拾六匁三重餘ツ、ソ篋リケル細カニ議

セララルコト、モアリテ是ヨリ金一兩ニ印銀
六拾目印銀壹匁ニ錢四拾八文ニ定マリ寶曆ノ
初ニ至リテ金一兩ニ印銀八拾九匁印銀壹匁ノ
錢ハ今マテノ如ク四拾八文タルヘシトアリ其
後八九年ヲ過テ印銀ノ直公私ニツニナリ官ニ
テハ壹匁ヲ四拾八文ニアテ、出サレ、ナ市中
ニテハ四拾八文ニモ易ヘ煩ヒケレハ忽チ細民ノ
苦しミトナリ銀山ニ雇ハレテ其日ヲ送ルモノ
ナトハ殊ニコシテ歎ケリ起ル計則レトハ其
ニ出サス、其事ステ置ルヘキニアラ子ハ同シ

キ十年庚辰ノ八月印銀ヲ廢シテ金錢ノニ通用
セムコトヲ關東ニ申ス然レトモ元和ヨリコノ
カタ國用ニアテシ印銀永ク廢セラレムコト寶
貨ノ數ヲ減スルニ似テ惜ムヘキコトナレハ今
ヨリ其直ヲ卑クセラレテ官ニテハ元文ノ前ニ
復サレ壹文ヲ貳拾六文ニアテ、出シ入ラシ私
ノ通用ハ民ノ心ニ任テ高下スヘキニナリ人皆
欣コト限ナシ明レハ十一辛巳遂ニ印銀ヲ廢
セラレ文銀ヲ用ヒラルヘシトテ銀座是ノモノ
トモ来リ居ケルカ寛政ノ初メコレモ止ニシテ

リ今金銀山ノ鏈代トイフモノ印銀ヲ以テ唱フ
ルコト残レリ又浦々番所ニテ他ノ國ヨリ来シ
ル商物ソノ品ニ從ヒ入役ト云テ納メシムルニ
壹文トイフハ錢五拾壹文八步曲重ナリ是モ印
銀ノ時ノ遺法ニシテ錢曲拾八文ヲ壹文ニアテ
ソレニ外八步ノ入目ヲ加ヘタルナルヘシ

錢

此國モト銀ヲ以テ日用ニアテシコト前ニイヘ
ルカ如シ萬治元年戊戌初メテ錢ヲ以テ金銀ニ

並へ行フコト二十リタレトモ元ヨリ國中ニ錢
十ケレハ唯他ノ國ヨリ來ル商人ヲノ物ノ價ニ
置キ又ハ金銀ニ換ヘナトスルノ事ニテ印銀ノ
ミソ專ラ行ハレケル其後年ヲフルニ從ヒ稍錢
モ聚リシカ猶國中ニ行ハルマテニハ至ラス
其頃ハ滿百ノ錢ヲ用ヒケルニ正徳三年癸巳ノ
夏今ヨリ後九拾六文ヲ以テ百錢トシ用フヘキ
ノ命アリ又此年新タニ錢鑄サレラルヘキ旨
ニテ明ル曲年甲午三月廿九日江戸ノ商人絲屋
ハ左御門ナトイフモノ曲拾余人來リ鑄錢坐ヲ

下戸炭屋濱町ニ建テ六月朔日ヨリ鑄始メタレ
トモ事大ニシテ賤用繼々其鑄タル錢モマタ思
フマハナラ子ハ明ル年ノ九月其事ヲ止ムサレ
トモ此時鶴子山ノ銅一年ニ出ル所七千貫目ニ
及フナレハ童子テ議セラルコトモアリテ享
保二年丁酉ノ春又關東ノ命下リ遂ニ官局ヲ相
川壹町目濱町ニ建其事ニカレレルモノナリ
田嶋與兵衛天野傳右御門トイフモノシテコレ
ヲ總シノ此年六月ヨリ始テ鑄出ス所ヲホヨソ
一年ニ壹萬貫文ニ及フ其鑄法ハ銅壹萬貫目ニ

上錫千貫目白錫三百貫目鉛貳千八百貫目ナ
ハセテ一錢ノ重キコトモ大サハ文錢ニ似テ
背ニ佐文字アリ前文佐ノ字ヲ用ヒタル所ハ此度
ハ字様ナカハルナリ同十九年甲寅關東ニ申シ
テ明ル乙卯ノ年ヨリ請負トイフ事ニナレリコ
シ運上ヲノサレハカクメナリトソ相川ノ所ハ
宗兵衛トイフ
元文五年庚申三月ヨリ鑄来レル銅錢
ノ外ニ鐵錢ヲモ並ヘ鑄ル事ヲ許サレ寛保元年
辛酉彼運上ヲ増ヘキ為ニ銅錢ノ章廿ヲ減シテ
八分ニセラレケルカ程ナク其年ノ内ニ銅鐵ノ

錢トモニ鑄ルコト止ミタリ其後明和中ニ至リ
又國中ニ錢乏シカリケレハ關東ニ申スコト、
モアリテ七年庚寅銅錢ヲ鑄ルコトヲ許サレ此
國ノ銅豆ラサルトキハ大坂ノ銅座ヨリ買加フ
ヘキニ定マリ明ル八年辛卯ノ二月ヨリ鑄ハシ
メ又此時モ請負ニテ運上ヲサ、ク相川ノ所ハ
清ハ川安ノ所ハ
佐左衛門忠兵衛善兵衛此度ハ重廿七分ナレハ
形甚小サクシテ正徳享保ノ錢ニハ似ルヘクモ
アラス背文ニハコレモ佐ノ字ヲ用ユ天明元年
辛丑二月コトニ鑄ルトコ口僅ニ五萬八千貫文

余ニシテ止ミヌコトシ鐵錢鑄ツヘキコトヲ願
ヒタレトモ許サレサリケリ其後文化中ニ及ヒ
テ由文錢通用ヲ許サレタレトモイマタ國ノ内
ニ多カラストイヘリ
諸物

此國ノ民生業ニ拙キ事ハ風俗ノ部ニイヘル如
シ然レトモ慶長ヨリユノカタ昇平ノ久シキニ
ヨリテ地カヲ盡シ國敗ヲ成ヌコト古ヘノ比ヒ
ニアラス先魚塩ノ利ハ海國ノ至要ナレトモ昔

ハ其事ニ疎カリシヲ慶長九年甲辰ノ春石見國
ノ海濱ノ民ヲコハニ移シテ姫津ノ浦トイフ所
ニ置キ國ノ内ニテ漢業ヲ專ラニシ土人ニモア
マ子ノ見ナラハシノ元和中ニ至リテ越前ノ漢
民ヲモ移ストイヘリ又相川ノ南ノ郭門ノ外ニ
海士町トイフヲ置テ鰻ヲトルコトヲナシム
此國ノ鰻ノ事ハ延喜式ノ中ニモ處々ニ載ラレ
ル殊ニ名産トモイフヘク今ハ是ニ海參ヲ取ソ
ヘテ長崎ニ送り異邦ノ交易ニモナルナリ塩ハ
延暦二十一年壬午正月越後國米壹萬六百斛佐

渡國塩壹百廿斛十年コトニ出羽國雄勝城ニ運
送シテ鎮守ノ兵糧トナサシムトイフコトアレ
ハ紀略尤古クアリシト見エタリ然レトモ古ヘ
ヨリ垂濱トイフモノヲナサスタ、汲タルマ、
ニ焼ルヲ萬治ノ初メ濱ツクルコトヲ始メテ薪
ノ貴チ者ケリ枝木ハモトヨリ餘リアリケルニ
ヤ越後國彌彦神社修造ノタヒコトニ昔ハ朝庭
ヨリ佐渡ノ官杖ヲ賜リシヨシ彼祠ノ縁起ノ文
ニノセタリ文羅今モ國用迄シキニハアラ子ト
モ故アリテ他ノ國ニ出シ賣コトヲ禁セラル是

一ツノ善政ナルヘシ布ハ延喜式ニ佐渡ノ調布
ト見エタリハ是モ久シカルヘシ帛モ古ク織始
メテ慶安ノコロ井上吉右衛門トイフモノ甲斐
ノ國ノ織婦曲人ヲ迎ヘテ色々ノ結ヲ織出ケル
カ延寶ノコロヨリ絶テ正徳四年甲午四月國中
ニアル桑樹ヲ數ヘシムルニ僅ニ壹萬千百四十
株アリ其後享保十八年癸丑國中ニ令シテ六十
町七段九畝拾六歩ノ地ヲ開キテ桑ヲ栽シメ三
拾三町八段八畝廿六歩ノ地ヲ開キテ木綿ヲ種
シメ貳拾六町貳段廿九歩ノ地ヲ開キテ油菜ヲ

時シム是ヨリ後又緒ヲ織タレトモ其事ニ急リ
アリテ寶曆明和ノコロヨリソ常ニ織ルコトニ
ハナリ又又今ハ縮緬ヲモ織出スナリ綿ヲ種ル
コトハ享保ニ起リ藍ヲ栽ルコトハ宝曆ニ始マ
リ漆ハモトヨリ國用足サルコトナシ菜ヲ種テ
油ヲ取ルハ元録ニ始リ享保ニ專ナリシカ國ノ
ウチ沃土多ク瘠地少キヲ以テ麥ヲ種ルノ利ニ
シカス近ク寛政ノ中コロシハハハ菜ヲ種ルキ
コトヲ諭シテ土ニ宜シキ村々ハ利ヲ得ルモ
ルナリ其コロ又楮ヲ種シメテ紙ヲモ造リ出セ

シカ國用ニアワルニ足ラステイタ程ナク止
タリ惜ムヘキコトナリ其餘木ノ實ノ油ヲトル
モ品多シ炭薪ノタクヒ用ヒテ足ラサルコトナ
ク小泊椿尾西村ノ石工ハ國用ノ餘リ近國ニ及
ヒ殊ニ石佛ヲ造ルコトニ巧ニシテ北陸七州ト
羽州ノ海濱村里マテモ彼像至ラサル所ナシ総
テ民生ヲ資スクヘキモノ甚繁ケレハコトハ
ク記サス物産ハ條詳國ノ内ニ用ルノ餘リ他方
ニ出シテ金錢ニ換ルモノ藥物ニハ黃連細辛竹
節五味子芍藥半夏伏苓烏頭萊白皮蒼朮當歸

芍薬十ト敷アリ中ニモ黄連細辛ノタクヒハ延
喜式典薬寮諸國貢進年料雜薬ノ條ニモ此國ノ
産アルコト見エタリ海奥ノタノヒハ勝テカソ
ヘカメレ或ハ脯トナレ或ハ腊トナレ四方ニ販
クナリ又大小ノ竹杖戸障子吳産苙枕箕篋籠櫃
箆等草履木履草鞋ニイタリ乾柿榧子モマタ多
ク出享和改元ノ夏去年ノ産ノ他方ニ出テ換取
タル價ヲ総ヘ算ヘシノケルニ錢拾三萬六千八拾
三貫文ニアマリ金ニアツレハ貳萬貳百五拾由
兩ト記セリ是ソノオヲヨソニシテ年々ニ均レ

カラストイヘトモ推テ此後ヲ知ルヘキタメコ
コニ出セリ然リトイヘトモ初メニイヘル如ク
民モト生業ニ拙ケレハ今ニ至テ猶他邦ノ産ヲ
タノメルモノモ亦少カラスモトヨリ入ルヲ量
リテ出スコトヲ十廿ハ竟ニ富饒ノ國トナルヘ
シ

カラス是ヲ以テ考ルニ今風俗ヲ記スト七十年
ノ後ヒトワモキナシキ事アルヘカラス甘アレ
ハ是カ爲ニ筆カヲワイヤスハ無用人事ナルヘ
シタシシ往テ明カニシ来テ考フヘキコトニヤ
天文ノコロ地頭ナルモノ遊山玩水ノ趣ヲ画キ
シモノ亡友本多曾伯青野村ニテ得タルヲ五十
年前正シク見タルコトアリ其質樸イハムカタ
ナシマタ其コロノ物ニヤ河原田ノ本間氏曾祖
父ノ百年ハ追善ヲナセシ時ノ献立ト云モノ其
時ノ料理人丸内ト云モノ、末ナル農民ノ家ニ

傳ヘシヲ前ニ同シコロ古藤常方ナルモノ寫得
テ藏セシヲ見タルニ質樸ノ甚シキモノナリ大
要金銀山開ケテ後ヨリ市中郷内トモ奢華ノ風
行ハシモト見エタリ此後モ銀山ノ盛衰漢獵ノ
多クニヨリテ度々轉變アルヘシ子カハクハ曲
民トモニ入ヲ量テ出スコトヲ省カハヤ、飢寒
ノ患ナマヌカルヘキニヤ二百年前ヨリカハラ
又物五種アルナリ級縦列衣織山田笠胴蓑十畝織
澤根灯燈是ナリメワラシキモノナレハ因テ出
シ又

図面

一四号

ト号

子号

胴蓑十畝織ノ二因テ時數違

同函

Handwritten text in vertical columns, including a date: 天保五年壬辰三月廿七日

